

科目名	看護管理と医療安全		時期		時間	単位
担当教員	副校長 非常勤講師		3年次	前期・後期	30時間	1単位
科目設定理由	医療のめざましい発展とともに看護を取り巻く環境はより複雑・高度化し、医療事故が発生しやすい状況に置かれている。そのため、医療事故が起きる背景を理解し、チーム医療の中での看護における事故防止のためのリスクアセスメントと技術を身につけることが必要である。また、チーム医療における他職種との連携・協働の中で、看護職としてのリーダーシップおよびメンバーシップについて学び、看護をマネジメントできることはより安全で質の高い看護サービスを提供するために必要である。そこで、そこで医療事故や安全対策、看護管理に対する基礎的知識を修得するため当該科目を設定した。					
学習目標	1 看護活動を円滑に行うための管理について理解する 2 医療安全の基礎知識を理解する 3 看護場面で遭遇しやすい医療事故を理解する					
修得する看護技術項目	NO.63 インシデント・アクシデント発生時の速やかな報告 NO.66 放射線被ばく防止の実施					
授 業 計 画						
回数	項目	内容				備考
1	看護とマネジメント	1 看護におけるマネジメントとは 2 マネジメントに必要な知識と技術				講義
2~3	看護ケアのマネジメント	1 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 2 患者の権利の尊重 3 安全管理 4 チーム医療 5 看護業務の実践				講義
4~7	看護サービスのマネジメント	1 看護の組織化 2 看護ケアの提供システム 3 人材のマネジメント 4 施設・設備環境・物品のマネジメント 5 情報のマネジメント				講義
8	医療安全の基本	1 医療事故と看護業務 2 看護事故の構造 3 看護事故防止の考え方				講義
9~10	看護と医療安全	1 診療の補助の事故防止 2 療養上の世話の事故防止 3 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因				講義
11~12	医療安全対策	1 医療安全とコミュニケーション 2 インシデント・アクシデントレポートの実際 3 組織的な安全体制への取り組み 4 KYT RCA チームステップス (SBAR)				講義・演習 NO.63
13~14	看護師の労働安全 衛生上の事故防止	1 職業感染 2 抗がん剤の曝露防止、放射線被曝 3 ラテックスアレルギー、院内暴力				講義 NO.66
15	試験					
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[1] 看護管理			上泉 和子 他		医学書院
	系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[2] 医療安全			川村 治子		医学書院
	医療安全ワークブック			川村 治子		医学書院
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験、レポート、演習内容等から総合的に評価する					